

## <マニュアル訂正連絡票>

# ASP PDF ファイル生成ツール説明書 V27

[J2K0-5078-01-C2]

2024年12月24日発行

修正箇所(章節項) : 第5章 印刷データの取り扱いについて

旧記事

### 5.2 文字の扱いについて

PDF ファイルを作成する ASP システムと PDF ファイルを表示・印刷するシステムでは文字コード体系が異なっている。

このため以下に述べる注意事項がある。

#### ・ コード変換仕様

CNVSPFLP コマンドでは、iconv ライブラリを使用して、文字コードを表示・印刷システムの文字コード系（UNICODE コード）に変換する。

変換方法は、プログラム出力文字とフォームオーバーレイパターン内文字で異なる。

– プログラム出力文字の場合、JEF コードからシフト JIS コードを経由して UNICODE コードに変換する。

JEF コードからシフト JIS コードに変換する際に未定義となるプログラム出力文字については、ASP 内のフォントパターンをイメージとして組み込む。

– フォームオーバーレイパターン内文字の場合、JEF コードから直接 UNICODE コードに変換する。その際に未定義となる文字については“ ”に置き換える。

各コード間の変換テーブルなどコード変換仕様の詳細については、“FUJITSU 文字資源流通手引書”を参照されたい。

以降にプログラム出力文字に関して詳細に説明する。

#### ・ JIS 第 1 水準/第 2 水準, JIS 非漢字の文字の表示

PUTDPTN パラメタの指定により PDF ファイルに富士通フォントパターンを埋め込むかどうか指定できる。

PDF ファイルに富士通フォントパターンを埋め込まない指定をした場合、PDF ファイルサイズが小さくなるが、表示システム的环境によっては見え方が異なったり正しく表示されない場合がある。

PUTDPTN パラメタの指定により、使用されるフォントパターンを“表 5.3 PUTDPTN パラメタにより指定するフォントパターン”に示す。

表 5.3 PUTDPTN パラメタにより指定するフォントパターン

文字種	使用フォント名	
	PUTDPTN-@YES 時	PUTDPTN-@NO 時
明朝体	富士通明朝体 (FUJ 明朝)	MS 明朝
ゴシック体	富士通ゴシック体 (FUJ ゴシック)	MS ゴシック

なお、旧字体のフォントパターンは PUTDPTN パラメタの指定にかかわらず、ASP 内のフォントパターンをイメージデータとして PDF ファイルに組み込む。

#### ・ JEF 拡張漢字/非漢字の表示

JEF 拡張漢字/非漢字については、ASP 内のフォントパターンをイメージデータとして PDF ファイルに組み込む。

ただし、JIS 改定文字は PUTDPTN パラメタの指定に従う。

#### ・ 利用者定義文字の表示

利用者定義文字は文字コード変換表の設定により、ASP 内の文字パターン組み込み、および表示・印刷システムのフォントパターンを使用できる。

文字コード変換表の設定方法の詳細については、“フォント連携サービス説明書”を参照されたい。設定には以下の点に注意する。

– 文字コードは PDF ファイル作成時にいったんシフト JIS に変換される。よって文字コード変換表は JEF, シフト JIS, UNICODE 間の対応が含まれていなければならない。

なお、UNICODE 外字領域は未サポートのため、UNICODE 外字領域への文字コード変換を定義した場合、当該文字部分には、何も表示されない。

– コード変換は UXF 環境で実施されるため、GENCDTBL コマンドにより文字コード変換表の UXF への複写処理が必要である。

また、ASP 内のフォントパターンはすべてのサイズを定義しておく必要がある。

ゴシック体項目への利用者定義文字出力はサポートしていない。

## 5.2 文字の扱いについて

PDF ファイルを作成する ASP システムと PDF ファイルを表示・印刷するシステムでは文字コード体系が異なっている。  
このため以下に述べる注意事項がある。

- コード変換仕様
  - CNVSPFLP コマンドでは、iconv ライブラリを使用して、文字コードを表示・印刷システムの文字コード系（UNICODE コード）に変換する。  
変換方法は、プログラム出力文字とフォームオーバーレイパターン内文字で異なる。
  - プログラム出力文字の場合、JEF コードからシフト JIS コードを経由して UNICODE コードに変換する。
    - JEF コードからシフト JIS コードに変換する際に未定義となるプログラム出力文字については、ASP 内のフォントパターンをイメージとして組み込む。
    - フォームオーバーレイパターン内文字の場合、JEF コードから直接 UNICODE コードに変換する。その際に未定義となる文字については“\_”に置き換える。
 各コード間の変換テーブルなどコード変換仕様の詳細については、“FUJITSU 文字資源流通手引書”を参照されたい。  
以降にプログラム出力文字に関して詳細に説明する。
- JIS 第 1 水準／第 2 水準、JIS 非漢字の文字の表示
 

PUTDPTN パラメタの指定により PDF ファイルに富士通フォントパターンを埋め込むかどうか指定できる。

PDF ファイルに富士通フォントパターンを埋め込まない指定をした場合、PDF ファイルサイズが小さくなるが、表示システム的环境によっては見え方が異なったり正しく表示されない場合がある。

PUTDPTN パラメタの指定により、使用されるフォントパターンを“表 5.3 PUTDPTN パラメタにより指定するフォントパターン”に示す。

表 5.3 PUTDPTN パラメタにより指定するフォントパターン

文字種	使用フォント名	
	PUTDPTN-@YES 時	PUTDPTN-@NO 時
明朝体	富士通明朝体 (FUJ 明朝)	MS 明朝
ゴシック体	富士通ゴシック体 (FUJ ゴシック)	MS ゴシック

なお、旧字体のフォントパターンは PUTDPTN パラメタの指定にかかわらず、ASP 内のフォントパターンをイメージデータとして PDF ファイルに組み込む。

- JEF 拡張漢字／非漢字の表示
 

JEF 拡張漢字／非漢字については、ASP 内のフォントパターンをイメージデータとして PDF ファイルに組み込む。

ただし、JIS 改定文字は PUTDPTN パラメタの指定に従う。
- 利用者定義文字の表示
 

利用者定義文字は文字コード変換表の設定により、ASP 内の文字パターン組込み、および表示・印刷システムのフォントパターンを使用できる。

文字コード変換表の設定方法の詳細については、“フォント連携サービス説明書”を参照されたい。設定には以下の点に注意する。

  - 文字コードは PDF ファイル作成時にいったんシフト JIS に変換される。よって文字コード変換表は JEF、シフト JIS、UNICODE 間の対応が含まれていなければならない。
  - なお、UNICODE 外字領域は未サポートのため、UNICODE 外字領域への文字コード変換を定義した場合、当該文字部分には、何も表示されない。
  - コード変換は UXF 環境で実施されるため、GENCDTBL コマンドにより文字コード変換表の UXF への複写処理が必要である。

また、ASP 内のフォントパターンはすべてのサイズを定義しておく必要がある。

ゴシック体項目への利用者定義文字出力はサポートしていない。
- 一部の半角文字の PDF 変換パターンを“表 5.4 半角文字の変換”に示す。変換前後で文字が異なるため、注意が必要である。

表 5.4 半角文字の変換

変換前	変換後
"["	"£"
"^"	"_"
" "	" " (ブロークンバー)
"~" (チルダ)	"~" (オーバーライン)

S7839	印刷データの登録に失敗した
-------	---------------

補足情報 : [原因コード,詳細コード [,エラー番号] ]

補足情報の詳細を以下に示す.

表 6.10 補足情報詳細(S7839)

原因コード	詳細コード	エラー番号	意味	利用者処置
2300	8003	1823	一度に処理できる帳票サイズをオーバーした.	SIPメニュー「LU インストール」で UX メモリ, UX スワップ領域を拡張する. または, 帳票を分割して, 再実行する.
	8018			
2400	0005	-	格納先ディレクトリに対して権限がない.	ディレクトリ権限のあるプロフィールで再実行する.
	0011	1824	同名のスプールファイルを同じタイミングで帳票登録した. (例. 配信連携定義で SPLNAME を指定し, 末尾に '*' を付加している状態で, 異なるライタから登録した. )	スプールの帳票を保留解除して, 再実行する.
	0036		以下に示すいずれかの原因で, 帳票登録処理エラーが発生した. (括弧内は, 対応するメッセージ番号) ・ディスクボリュームの空き領域が不足した. (S0593) ・ジョブ起動数が, システムの最大ジョブ数を超えた. (S0982) ・ジョブ実行時の RSIZE が不足した. (S0984) ・基本ユーザ域サイズが不足した. (S0992) ・FQA が不足した. (S0997) ・SWA が不足した. (S0998) ・ジョブ実行時の VSIZE および EVSIZE が不足した. (S0999) ・登録可能ライブラリ数が上限に達した. (S1013)	対応するメッセージ番号の対処を確認の上, エラー原因を取り除き, 再実行する.
000a				

メッセージレベル : B

原因 : 印刷データを ListWORKS ファイルシステムへ登録しようとして失敗した.

システムの処理 : 帳票を保留する.

利用者の処置 : 補足情報をもとに原因を取り除き, スプールの保留を解除し, 再度登録する.

当社技術員 (SE) に調査を依頼する場合は, 原因コード, 詳細コード, エラー番号を併せて連絡する.

**S7839 印刷データの登録に失敗した**

補足情報： [原因コード,詳細コード [,エラー番号] ]  
 補足情報の詳細を以下に示す。

表 6.10 補足情報詳細(S7839)

原因コード	詳細コード	エラー番号	意味	利用者処置
2300	8003	1823	一度に処理できる帳票サイズをオーバーした。	SIP メニュー「LU インストール」で UX メモリ, UX スワップ領域を拡張する。または, 帳票を分割して, 再実行する。
	8018			
2400	0005	-	格納先ディレクトリに対して権限がない。	ディレクトリ権限のあるプロフィールで再実行する。
	0011	1824	同名のスプールファイルを同じタイミングで帳票登録した。 (例. 配信連携定義で SPLNAME を指定し, 末尾に '*' を付加している状態で, 異なるライターから登録した。)	スプールの帳票を保留解除して, 再実行する。 または, 配信連携定義の <b>SPLNAME-MODE</b> オペランドに「1」を指定する。
	0036		以下に示すいずれかの原因で, 帳票登録処理エラーが発生した。 (括弧内は, 対応するメッセージ番号) ・ディスクボリュームの空き領域が不足した。(S0593) ・ジョブ起動数が, システムの最大ジョブ数を超えた。(S0982) ・ジョブ実行時の RSIZE が不足した。(S0984) ・基本ユーザ域サイズが不足した。(S0992) ・FQA が不足した。(S0997) ・SWA が不足した。(S0998) ・ジョブ実行時の VSIZE および EVSIZE が不足した。(S0999) ・登録可能ライブラリ数が上限に達した。(S1013)	対応するメッセージ番号の対処を確認の上, エラー原因を取り除き, 再実行する。
000a				

メッセージレベル： B

原因： 印刷データを ListWORKS ファイルシステムへ登録しようとして失敗した。

システムの処理： 帳票を保留する。

利用者の処置： 補足情報をもとに原因を取り除き, スプールの保留を解除し, 再度登録する。

当社技術員 (SE) に調査を依頼する場合は, 原因コード, 詳細コード, エラー番号を併せて連絡する。

## 2.1 UXF 環境情報の設定

CNVSPFP コマンドは UXF 環境で動作する。したがって、CNVSPFP コマンドの動作に必要な量を含めたシステム全体の UXF 資源の使用量を UXF 環境情報に設定する必要がある。

以下に、UX サイズ、UX スワップ域、および TEMP サイズの使用量について示す。

ただし、変換対象とする帳票データの文字数やフォントパターン埋め込み文字の使用、フォームオーバーレイパターンの有無など、内容によって UXF 資源の使用量は著しく変化するため、UXF 資源の使用量を一定の式によって算出することは困難である。

よって、推奨値を示すこととする。

### UX サイズ

搭載物理メモリにもよるが、64MB 以上を推奨する。

ただし、大量ページ数の帳票や、JEF 拡張漢字、JEF 拡張非漢字、JIS 第 1 水準、および JIS 第 2 水準に含まれる旧字など、イメージとして埋め込まれる文字を多数使用している帳票を変換する場合は、128MB 以上を推奨する。

詳細に見積もる場合は以下の計算式で算出されたい。

$$\begin{aligned} \text{使用量} = & (7800\text{KB} + 1200\text{Kバイト} + n \times (1\text{ページ内の最大文字数} + 1)) \\ & \times (処理帳票の最大ページ数 + 1) + \text{変換スプールファイルサイズ} \\ & + \text{重畳するフォームオーバーレイパターンの総ファイルサイズ} \\ & \times \text{同時動作数} \end{aligned}$$

※n は1ページ内の文字がフォントパターン埋め込み文字を使用する割合で決まる。フォントパターン埋め込み文字を100%使用する場合、0.6Kバイトとし、0%の場合0.06Kバイトとする。なお、フォントパターン埋め込み文字数とは、処理帳票に含まれるJEF拡張漢字の数、JEF拡張非漢字の数、利用者定義文字の数、JIS第1水準に含まれる旧字の種類の数、およびJIS第2水準に含まれる旧字の種類の数のこと。  
※スプールファイルサイズはREFSPLコマンドにて確認できる。

### UX スワップ域

通常はシステムインストール時の初期設定値(168MB)で充分である。

ただし、大量ページ数の帳票や、JEF 拡張漢字、JEF 拡張非漢字、JIS 第 1 水準、および JIS 第 2 水準に含まれる旧字など、イメージとして埋め込まれる文字を多数使用している帳票を変換する場合は、常駐ディスクの容量にもよるが 256MB 以上を推奨する。

詳細に見積もる場合は以下の計算式で算出されたい。

$$\begin{aligned} \text{使用量} = & (7800\text{Kバイト} + 1200\text{Kバイト} + n \times (1\text{ページ内の最大文字数} + 1)) \\ & \times (処理帳票の最大ページ数 + 1) + \text{変換スプールファイルサイズ} \\ & + \text{重畳するフォームオーバーレイパターンの総ファイルサイズ} \\ & \times \text{同時動作数} \end{aligned}$$

※nは1ページ内の文字がフォントパターン埋め込み文字を使用する割合で決まる。フォントパターン埋め込み文字を100%使用する場合、1.2Kバイトとし、0%の場合、0.12Kバイトとする。

### TEMP サイズ

常駐ディスクの容量にもよるが 128MB 以上を推奨する。

詳細に見積もる場合は以下の計算式で算出されたい。

使用量 = (n × (1ページ内の最大文字数 + 1) × (処理帳票の最大ページ数 + 1) + 変換スプールファイルサイズ + 重畳するフォームオーバーレイパターン  
の総ファイルサイズ) × 3 × 同時動作数

※nは1ページ内の文字がフォントパターン埋め込み文字を使用する割合で決まる。  
フォントパターン埋め込み文字を100%使用する場合は、1.2Kバイトとし、0%の場合は、  
0.12Kバイトとする。  
なお、TEMP領域は圧縮前のPDFファイルを一時的に格納するために使用する。  
このため、使用量は帳票の内容によって変化する。上記値は目安である。

上記設定でも不足する場合は、帳票を分割し再度変換を実施するか、または不足した UXF 資源の設定値を拡張することに対応されたい。

システムインストール時の初期設定値でも動作するが、この場合の変換可能ページ数は、帳票データの内容により異なる。なお、システムインストール時の初期設定値は機種によって異なる為注意されたい。

また、UX サイズ、UX スワップ域の実際の使用量は、PMF（有償製品）を利用し測定することが可能である。

UXF 環境の設定については、“[システム説明書](#)”、“[システム運用手引書](#)”、および“[システム導入手引書](#)”を参照されたい。

PMF の詳細については“[PMF 説明書](#)”を参照されたい。

## 2.1 UXF 環境情報の設定

CNVSPLFP コマンドは UXF 環境で動作する。したがって、CNVSPLFP コマンドの動作に必要な量を含めたシステム全体の UXF 資源の使用量を UXF 環境情報に設定する必要がある。

以下に、UX サイズ、UX スワップ域、および TEMP サイズの使用量について示す。

ただし、変換対象とする帳票データの文字数やフォントパターン埋め込み文字の使用、フォームオーバーレイパターンの有無など、内容によって UXF 資源の使用量は著しく変化するため、UXF 資源の使用量を一定の式によって算出することは困難である。

よって、推奨値を示すこととする。

### UX サイズ

搭載物理メモリにもよるが、64MB 以上を推奨する。

ただし、大量ページ数の帳票や、JEF 拡張漢字、JEF 拡張非漢字、JIS 第 1 水準、および JIS 第 2 水準に含まれる旧字など、イメージとして埋め込まれる文字を多数使用している帳票を変換する場合は、128MB 以上を推奨する。

詳細に見積もる場合は以下の計算式で算出されたい。

$$\text{使用量} = (7800\text{KB} + 1200\text{Kバイト} + n \times (1\text{ページ内の最大文字数} + 1) \times (\text{処理帳票の最大ページ数} + 1) + \text{変換スプールファイルサイズ} + \text{重畳するフォームオーバーレイパターンの総ファイルサイズ}) \times \text{同時動作数}$$

※n は1ページ内の文字がフォントパターン埋め込み文字を使用する割合で決まる。フォントパターン埋め込み文字を100%使用する場合、0.6Kバイトとし、0%の場合 0.06Kバイトとする。なお、フォントパターン埋め込み文字数とは、処理帳票に含まれるJEF拡張漢字の数、JEF拡張非漢字の数、利用者定義文字の数、JIS第1水準に含まれる旧字の種類の数、およびJIS第2水準に含まれる旧字の種類の数のこと。  
※スプールファイルサイズはREFSPLコマンドにて確認できる。

### UX スワップ域

通常はシステムインストール時の初期設定値（168MB）で充分である。

ただし、大量ページ数の帳票や、JEF 拡張漢字、JEF 拡張非漢字、JIS 第 1 水準、および JIS 第 2 水準に含まれる旧字など、イメージとして埋め込まれる文字を多数使用している帳票を変換する場合は、常駐ディスクの容量にもよるが 256MB 以上を推奨する。

詳細に見積もる場合は以下の計算式で算出されたい。

$$\text{使用量} = (7800\text{Kバイト} + 1200\text{Kバイト} + n \times (1\text{ページ内の最大文字数} + 1) \times (\text{処理帳票の最大ページ数} + 1) + \text{変換スプールファイルサイズ} + \text{重畳するフォームオーバーレイパターンの総ファイルサイズ}) \times \text{同時動作数}$$

※nは1ページ内の文字がフォントパターン埋め込み文字を使用する割合で決まる。フォントパターン埋め込み文字を100%使用する場合、1.2Kバイトとし、0%の場合、0.12Kバイトとする。

### TEMP サイズ

常駐ディスクの容量にもよるが 128MB 以上を推奨する。

詳細に見積もる場合は以下の計算式で算出されたい。

$$\text{使用量} = (n \times (1\text{ページ内の最大文字数} + 1) \times (\text{処理帳票の最大ページ数} + 1) + \text{変換スプールファイルサイズ} + \text{重畳するフォームオーバーレイパターンの総ファイルサイズ}) \times 3 \times \text{同時動作数}$$

※nは1ページ内の文字がフォントパターン埋め込み文字を使用する割合で決まる。フォントパターン埋め込み文字を100%使用する場合、1.2Kバイトとし、0%の場合、0.12Kバイトとする。  
なお、TEMP領域は圧縮前のPDFファイルを一時的に格納するために使用する。このため、使用量は帳票の内容によって変化する。上記値は目安である。

上記設定でも不足する場合は、帳票を分割し再度変換を実施するか、または不足した UXF 資源の設定値を拡張する

ことに対応されたい。

システムインストール時の初期設定値でも動作するが、この場合の変換可能ページ数は、帳票データの内容により異なる。なお、システムインストール時の初期設定値は機種によって異なる為注意されたい。

また、UX サイズ、UX スワップ域の実際の使用量は、PMF（有償製品）を利用し測定することが可能である。

UXF 環境の設定については、“[システム説明書](#)”、“[システム運用手引書](#)”、および“[システム導入手引書](#)”を参照されたい。

PMF の詳細については“[PMF 説明書](#)”を参照されたい。

2016 年 4 月 28 日発行

修正箇所（章節項）： 第 6 章 メッセージ

## 旧 記 事

### S6623 PDF ファイルへの変換に失敗した

補足情報：

スプールファイル名 | 識別番号, スプールキュー, ジョブ名, プロフィール名,  
[詳細コード 1] [, 詳細コード 2] [, 詳細コード 3]

補足情報の詳細を以下に示す。

表 6.1 補足情報詳細(S6623) (続く)

詳細 コード 1	詳細 コード 2	詳細 コード 3	意味	利用者の処置
0bb9	062f	—	作業領域の獲得に失敗した。	UX メモリ, UX スワップ域を使用 する他プログラムを終了してか ら再度コマンドを実行する。 または, S3870/S3871/S5387 に 対する処置を行なう。
	0838		PDF 変換処理で実行できない 事象が発生した。	DSPTDIR コマンドで/optx/po1 の ディレクトリ内容を採取し, 当 社技術員 (SE) に連絡する。
	0839			DSPTDIR コマンドで/optx/po2 の ディレクトリ内容を採取し, 当 社技術員 (SE) に連絡する。
	上記以外			UX メモリ, UX スワップ域を使用 する他プログラムを終了してか ら再度コマンドを実行する。 それでも同メッセージが表示さ れる場合には, スプールファイ ルおよび, システムログを採取 し, 当社技術員 (SE) に連絡す る。
xxxx	03ea		作業領域の獲得に失敗した。	UX メモリ, UX スワップ域を使用 する他プログラムを終了してか ら再度コマンドを実行する。 または, S3870/S3871/S5387 に 対する処置を行なう。

S6623

PDF ファイルへの変換に失敗した

補足情報：

スプールファイル名 | 識別番号, スプールキュー, ジョブ名, プロフィール名,  
 [詳細コード1] [, 詳細コード2] [, 詳細コード3]  
 補足情報の詳細を以下に示す.

表 6.1 補足情報詳細(S6623) (続く)

詳細 コード1	詳細 コード2	詳細 コード3	意味	利用者の処置
0bb9	062f	—	作業領域の獲得に失敗した.	UX メモリ, UX スワップ域を使用 する他プログラムを終了してか ら再度コマンドを実行する. または, S3870/S3871/S5387 に 対する処置を行なう.
	0838		PDF 変換処理で実行できない 事象が発生した.	DSPTDIR コマンドで/optx/po1 の ディレクトリ内容を採取し, 当 社技術員 (SE) に連絡する.
	0839			DSPTDIR コマンドで/optx/po2 の ディレクトリ内容を採取し, 当 社技術員 (SE) に連絡する.
	上記以外			UX メモリ, UX スワップ域を使用 する他プログラムを終了してか ら再度コマンドを実行する. それでも同メッセージが表示さ れる場合には, スプールファイ ルおよび, システムログを採取 し, 当社技術員 (SE) に連絡す る.
0fc9	000b		バックグラウンドジョブ数が, システム共通変数@MAXBJ の 上限値を超えた.	システム共通変数@MAXBJ の値を 見積り, 再設定する. @MAXBJ については, 『システムコマンド集』の[本 書の使い方]-[ G. 共通変数]を参照されたい.
xxxx	03ea		作業領域の獲得に失敗した.	UX メモリ, UX スワップ域を使用 する他プログラムを終了してか ら再度コマンドを実行する. または, S3870/S3871/S5387 に 対する処置を行なう.